

NHK学校放送番組 録画案内



NHK学校放送番組は、学習活動の中でおおいに活用できるものです。今年度、当センターでは下記の番組を録画収録しております。

小学校		中学校	
1年 国	あいうえお	低学年	今年度は教科を横断した内容になりました
生	あしたもげんきくん	音	スクール五輪の書
算	さんすうみつけた		人間の巻 「思春期放送局」
道	ざわざわ森のがんこちゃん		社会の巻 「世の中探検隊」
2年 生	キッズチャレンジ		科学の巻 「発想ミュージアム」
算	さんすうすいすい		国際の巻 「ワールド ドキュメント」
道	あつまれじゃんけんぼん		生き方の巻 「21世紀の君たちへ」
3年 社	このままだいすき	中学年	10minボックス
理	ふしぎのたまご	道	理科、社会、技術のトピックを扱います
4年 社	くらし発見	音	
理	ふしぎコロンブス	生命	みんな生きている
5年 社	なぜなぜ日本	高学年	
理	わくわくサイエンス	道	虹色定期便
6年 社	歴史たんけん	環境	たったひとつの地球
理	しらべてサイエンス		
			障害児学級
			グルグルバックン
			いってみよう やってみよう

平成8年度委託ビデオ作品完成

「いいね金沢」シリーズ第2弾

*4月中に各小学校に配布の予定です。

分類番号	題名	時間	内 容	(利用の場面・教科・単元名)
P 2 218	「今と昔の街並みが 生きるまち」	10分	城下町「金沢」と近代都市「金沢」という二つの側面を街並みという観点から知らせている。10年ぶりに金沢を訪れた女子大生が金沢に住む叔父さんとまちに出かけるという設定で話が進められる。	総合 社会科 3年「私たちの市のようす」「かわってきた人びとのくらし」4年「新しい地域づくり」等
P 2 219	「二つの川と 生きるまち」	10分	金沢を代表する二つの川「犀川」と「浅野川」。水の利用など資源としての自然環境や川にかかわって生きる人々を見つめることから、市民の生活と深く結びついた二つの川を通して見た金沢の良さに気づかせたいと願った作品。	総合 特活 社会科 3年「市ぜんたいのようす」4年「くらしをささえる水」5年「伝統的な工業」等
P 2 444	「リサイクルに とりくむまち」	11分	年々増えるゴミに頭を痛める金沢市。リサイクルにとりくむ市の人々の姿やびんの再処理工場の様子を紹介することにより、リサイクル社会をつくっていくことの大切さに気づくことを願った作品。	環境教育 特活 PTA活動 社会科 4年「ごみと住みよいくらし」5年「限りある地球と日本の国土」等
P 2 633	「土地を利用した 作物づくり」	11分	金沢市を大きく東部・西部・南部・北部の4つに分け、どこでどんな作物が作られているのかを知るとともに、身近な地域の作物づくりと農家の人々の工夫と努力を調べるきっかけとなることを願った作品。	総合 特活 社会科 3年「わたしたちのくらしとものをつくるしごと」4年「きょうどを開く」等

あなたもつくってみませんか
～パソコン教材・ビデオ教材～



平成8年度委託教材作品が完成しました。ご協力くださった先生方ありがとうございました。平成9年度も多くの先生方の応募をお待ちしていますので、よろしくお願ひします。詳しくは、各学校にお渡ししました掲示用資料を見てください。

発行者 金沢市教育センター
南 千 之
〒920 金沢市武蔵町14番31号
TEL (21) 7949・1642
FAX (21) 6800
URL <http://www.iaa.or.jp/ed-center/>
e-mail ed-center@kanazawa.iaa.or.jp



写真：センター所員一同

平成9年4月30日発行

よりよい在り方をめざして

所長 南 千 之

センターの役割には、研修、調査研究、相談、教材作成の4つの柱がありますが、そのひとつである研修が今年度大きく変わりました。学校教育課や教育センターが行っていた講演や研修の内容を見直して、研修会参加による欠時を少なくし先生方ができるだけ子ども達と接する時間を多く持てるようにと統合化や精選を行いました。また、演習や実技等を取り入れた参加型の研修形態を工夫しました。教育相談部門では、先生方が児童生徒の心にそった対応ができるようにと「カウンセリングマインド」に力点を置いた研修等を行います。また、いじめ・不登校・障害児教育に関する相談については、先生方の要望に応じて都合のよい時間帯に合わせてこちらから学校へ出向き、ともに考えさせていただきます。

この度の異動で、「生徒指導」「きこえの教室」に携わっていた先生を新しく迎えましたので、より幅のある対応ができるかと思ひます。学校との連携をさらに深めながら業務にあたりたいと考えています。視聴覚部門では、携帯用パソコンを更に30台増やして先生方の要望に応じるとともに、センターの職員を学校へ派遣してのコンピュータ及び関連機器の操作等に力点を置いた出張研修も進めていきたいと考えています。また、今年度から始まる新規事業として、センターや学校に保管されている写真、スライド等、貴重な資料のデジタル化を行い、資料の保存と活用を図ろうとしています。ご協力をお願いいたします。

センターの組織 (事務分担)

所 長	(総 括)	南 千之
所長補佐	(管理、渉外)	富田 武
庶 務	(予算、執行)	上嶋祥明
教育相談	(相談、研修 調査研究)	田野正昭、亀田勇人、茶谷信一、上農 肇、 西 雅子、嶋外美雄、古市俊郎、清水育子、永井映子
視聴覚	(研修、研究 教材作成)	大浦 正、中島満子、日光豊錦、金岡弘宣
	(搬 送)	嶋 貞雄
	(受付、貸出)	村中祐紀

教育相談部

相談

次のような様々な問題の相談に応じます

- ・不登校
- ・いじめ
- ・学業不振
- ・しつけ
- ・LD（学習障害）
- ・発達障害・感覚障害
- ・非行・暴力・ノイローゼ
- ・進路やその他教育上の問題全般

☆対象 金沢市内に在住する幼児、児童、生徒とその保護者・教職員 《プレイルーム》

☆相談の方法

電話相談

TEL:21-7949 FAX:21-6800

いじめ相談テレホン

TEL:62-1110 FAX:63-7830

面接相談

（事前に電話での予約が必要です）

学校コンサルテーション

（先生方からの相談にも応じます）

定期的通所による援助

（児童、生徒とその保護者に個別援助を行います）



適応指導教室「そだち」

不登校児童、生徒の居場所を提供し、自立のための援助を行います

☆対象 金沢市内小中学校に在籍する児童、生徒

☆受け入れの手続き

面接申し込み→受理面接→保護者の申請→学校長の同意を得て、受け入れ決定

TEL:21-7949

☆開設日 毎週月曜日から金曜日（祝・祭日を除く）

☆活動（援助）の内容
 ・児童、生徒の特性に応じた個別・小集団での学習活動
 ・保護者や学校への援助

研修

子どもたちの理解につながる研修会を開設します

- ☆本年度開設研修会
- ・児童生徒理解研修会
- ・中学校生徒指導担当者研修会
- ・カウンセリング講座1
- ・障害児学級担当者実践研修会
- ・障害児学級担当者専門研修会

*研修会の日時・内容については、研修会一覧でご確認ください



研修会のご案内

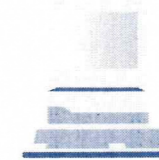
今年度は30講座に精選し、実施しています。新しい講座は、「指導者養成」「授業活用（障害児教育・環境教育）」などです。視聴覚教室のパソコンが更新され、最新機種が導入される予定です。これによりセンター内でのネットワークや12台のパソコンで同時にインターネットにアクセスすることも可能になります。研修一覧をご覧になり、ふるってお申し込み下さい。

視聴覚の活用

教育センターの設備・機材

設備：

- ◎ 録音・録画スタジオ
- ビデオ関係：
 - ◎ 電子編集システム
 - ◎ 複数同時ダビングシステム
 - ◎ ビデオプリンター
 - ◎ 全世界対応ビデオなど
- パソコン関係：
 - ◎ 教材ソフトライブラリ
 - ◎ デスクトップパソコン
 - ◎ 音楽用キーボード
- コピー関係：
 - ◎ カラーコピー機
A3までの拡大ができます。精選して！1人15枚以内。
 - ◎ カラー拡大複写機
A4以下の写真原稿、または、文字原稿をA1まで拡大。
 - ◎ 白黒拡大複写機
A4以下の原稿を模造紙大に拡大。校区地図などに利用



金沢市教育センター
21-7949
電話で予約・申込

貸出用教材・機材

貸出教材：

- ◎ 16mm映画フィルム
 - ◎ ビデオ教材
 - ◎ レーザーディスク教材
 - ◎ スライドなど
- 「視聴覚教材資料集」を見て電話で申し込んでください。

貸出機材：

- ◎ 16mm映写機
- ◎ スライド映写機
- ◎ OHP
- ◎ ビデオカメラ
- ◎ ビデオプロジェクター
- ◎ フォトビジョン
- ◎ 携帯パソコン（70台）
- ◎ 付属品
 - ・プリンター
 - ・スキャンコンバータ
 - ・実験計測セットなど

貸出の約束が変わりました。御協力を！

※ 詳しくは、4月14日教頭会でお知らせしました。

教材・機材

☆予約は、貸出希望日の前々日までに！

前日の予約は、準備・点検の関係上お受けできなくなりました。

☆貸出の延長希望は、回収日の前日までにお電話を！

☆受け渡しは、すべて校務士室（学校関係）まで
事務室（社会教育関係）までです。御協力をお願いします！

ノートパソコン

予約希望を年度当初・学期末にまとめてお受けします。これは少しでも多くの学校に利用していただこうと考えたからです。

学校単位で書類を提出してください。

センターで調整後、各学校に貸し出しいたします。



上記で残った台数については、従来通り学期途中でも電話で受けつけます。